いもむし観察をしています

R7.6.9(月)たんぽぽ組

現在、たんぽぽ組のお部屋では『ダンゴムシ』『かたつむり』『カブトムシ』『いもむし』の４種類の生き物を飼育・観察しています。

５月下旬頃に農園のみかんの木にいもむしがくっついていることに気が付き、お部屋で観察をしてみる事にしました。それから毎日飼育ケースの中をのぞきこみ、飼育ケースの中に黒いつぶつぶが落ちていると、「これ何？」「うんち？」と興味津々。保育者がケースを開けると、「くさい！」と反射的に言っていましたが、よく匂いを嗅いでみると…？「くさくない！」「みかんのにおいする」と、いもむしのうんちはみかんの匂いがすることに気が付いていました。

いもむしの観察を続けるうちに、“触ってみたいな”という気持ちが出てきた子もおり、初めは「怖い…！」と言っていた子も、「ふわふわする」「気持ちいいよ！」といもむしの体を優しく触り、優しい眼差しで可愛がるようになりましたよ。

ある日、飼育ケースをのぞいてみると、２匹のいもむしがさなぎに変身していました。それからは毎日、「さなぎ動かないね」「ちょうちょ出てくる？」「もう少し？」と蝶々になることが待ち遠しくてたまらない様子でした。さなぎが少し動いていることに気が付いた時は、「動いた！！」「今！こうやって動いたよ！」とさなぎの動きを真似しながら、大興奮で教えてくれましたよ。

今朝、飼育ケースの中を覗いてみると、なんと、アゲハ蝶になっていました！アゲハ蝶を見つけた子どもたちは「蝶々になった！見て！」と保育者に何度も教えていましたよ。中には、中身が空っぽになったさなぎが気になり、「中、いなくなったね」「なにも入ってないね」「お水出てきた！」と気が付いたことを話す子もいましたよ。蝶々になったアゲハ蝶を逃がす際は、「飛べるかな？」と心配したり、「頑張れ！」と応援したりしていました。上手に飛ぶことが出来ると、「蝶々、バイバイ！」と元気に見送っていましたよ。